



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月2日

上場会社名 日本コークス工業株式会社
 コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿毛 和哉
 問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 山下 伸一
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5560-1311

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	58,591	6.6	2,781	85.6	2,361	69.7	1,252	△67.1
30年3月期第2四半期	54,949	41.7	1,498	107.4	1,391	763.1	3,808	494.0

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 1,285百万円 (△57.4%) 30年3月期第2四半期 3,017百万円 (68.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	4.24	—
30年3月期第2四半期	12.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	114,101	46,795	41.0
30年3月期	115,702	46,396	40.1

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 46,795百万円 30年3月期 46,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	14.4	6,300	80.2	5,200	61.1	2,800	△41.9	9.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年11月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	302,349,449 株	30年3月期	302,349,449 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	6,703,960 株	30年3月期	6,703,484 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	295,645,745 株	30年3月期2Q	301,718,183 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しているものの、先行きについては、海外経済の不確実性や、為替の変動影響に留意する必要があるなど、依然として見通せない状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期に比べコークス販売価格の上昇などにより、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比36億4千1百万円増加の585億9千1百万円となりました。利益面では、コークス市況が堅調に推移したことやコスト削減の取り組みなどにより、連結営業利益は、前年同期比12億8千3百万円増加の27億8千1百万円、連結経常利益は、前年同期比9億6千9百万円増加の23億6千1百万円となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度に計上した投資有価証券売却益の反落などから、前年同期比25億5千5百万円減少の12億5千2百万円となりました。

(セグメントの概況)

コークス事業につきましては、売上高は、前述の理由などにより、前年同期比27億3千8百万円増加の394億6千3百万円、営業利益は、前年同期比13億6千2百万円増加の18億3千万円となりました。

燃料販売事業につきましては、売上高は、前年同期比11億4千7百万円増加の120億8千4百万円、営業利益は、前年同期比3千6百万円増加の8億3千9百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比2億7千9百万円減少の49億3千1百万円、営業利益は、前年同期比4千4百万円減少の6億4千万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比3千5百万円増加の21億1千2百万円、営業利益は、前年同期比4千1百万円減少の2億5千万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1,141億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億円減少となりました。増減の主なものは、商品及び製品の増加12億3千1百万円、機械装置及び運搬具の減少22億2千5百万円、流動資産「その他」の減少6億1千8百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、673億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億9千9百万円減少となりました。増減の主なものは、短期借入金の増加22億7百万円、支払手形及び買掛金の減少20億4千3百万円、長期借入金の減少20億4千5百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、3億9千8百万円増加の467億9千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、前回(平成30年9月28日)公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成30年11月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,172	5,371
受取手形及び売掛金	12,856	12,867
商品及び製品	10,224	11,456
仕掛品	1,079	1,169
原材料及び貯蔵品	10,937	11,299
その他	1,529	911
貸倒引当金	△0	△4
流動資産合計	42,800	43,070
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	85,782	86,351
減価償却累計額	△60,867	△63,662
機械装置及び運搬具（純額）	24,914	22,689
土地	35,213	35,161
その他	22,699	23,184
減価償却累計額	△15,309	△15,474
その他（純額）	7,389	7,710
有形固定資産合計	67,517	65,561
無形固定資産		
その他	465	440
無形固定資産合計	465	440
投資その他の資産		
その他	4,928	5,037
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,919	5,028
固定資産合計	72,902	71,031
資産合計	115,702	114,101

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,287	17,244
短期借入金	19,006	21,214
1年内償還予定の社債	14	14
未払法人税等	265	617
賞与引当金	700	731
関係会社整理損失引当金	351	351
受注損失引当金	1	8
事業整理損失引当金	20	13
その他	5,768	5,313
流動負債合計	45,416	45,509
固定負債		
社債	16	9
長期借入金	16,025	13,980
退職給付に係る負債	3,442	3,484
役員退職慰労引当金	56	53
環境対策引当金	3,185	3,183
事業整理損失引当金	71	64
その他	1,092	1,020
固定負債合計	23,889	21,795
負債合計	69,305	67,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	38,400	38,766
自己株式	△756	△756
株主資本合計	46,393	46,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	83
繰延ヘッジ損益	△35	△16
為替換算調整勘定	152	174
退職給付に係る調整累計額	△219	△205
その他の包括利益累計額合計	3	36
純資産合計	46,396	46,795
負債純資産合計	115,702	114,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	54,949	58,591
売上原価	50,658	52,947
売上総利益	4,291	5,643
販売費及び一般管理費	2,792	2,861
営業利益	1,498	2,781
営業外収益		
為替差益	173	-
受取保険金	55	230
その他	179	57
営業外収益合計	409	287
営業外費用		
為替差損	-	256
支払利息	227	198
その他	288	252
営業外費用合計	516	707
経常利益	1,391	2,361
特別利益		
固定資産売却益	160	32
投資有価証券売却益	3,287	-
その他	2	-
特別利益合計	3,450	32
特別損失		
固定資産除却損	309	513
その他	62	26
特別損失合計	371	539
税金等調整前四半期純利益	4,470	1,854
法人税、住民税及び事業税	309	468
法人税等調整額	352	133
法人税等合計	661	601
四半期純利益	3,808	1,252
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,808	1,252

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	3,808	1,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△821	△22
繰延ヘッジ損益	25	18
為替換算調整勘定	△8	22
退職給付に係る調整額	14	14
その他の包括利益合計	△790	32
四半期包括利益	3,017	1,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,017	1,285
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社コークス部門の原材料について、従来、移動平均法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、総平均法に変更しております。

この変更は、コークス部門において、原材料価格の市況変動の影響を、たな卸資産の評価および損益計算に適切に反映させるため、基幹システムの変更を行ったことによるものであります。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	36,724	10,937	5,210	52,872	2,076	54,949	—	54,949
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	0	397	397	142	540	△540	—
計	36,724	10,937	5,608	53,270	2,219	55,490	△540	54,949
セグメント利益	468	803	685	1,956	291	2,247	△749	1,498

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△749百万円は、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△756百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	39,463	12,084	4,931	56,479	2,112	58,591	—	58,591
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	487	489	155	645	△645	—
計	39,463	12,086	5,418	56,968	2,267	59,236	△645	58,591
セグメント利益	1,830	839	640	3,310	250	3,560	△778	2,781

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△778百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△784百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。